

2025 年度ゼミ（演習 2A／演習 2B）要覧

担当者名	林公則
演習テーマ	環境と経済
校外実習	1、実施しない 2、実施（実施時期： 2025年 9月） 場所は、熊本周辺を予定。
メール・アドレス	fwnn4632@nifty.com
オフィス・アワー	火・金曜日の昼休み（要予約）
2026 年度に開講しない可能性 (研究サバティカル)	なし。
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 環境と経済に関わるテーマの文献を輪読する。春学期は、『限界費用ゼロ社会』を予定している。秋学期は、『U理論』を予定している。 校外実習の準備および報告書の作成を行う。関心のあるテーマで班分けをして、その班内での話し合いを通じて校外実習の内容を学生自身がつくっていく。校外実習終了後、報告書を作成する。 輪読とは別に、年間 2 回ほど、卒論に向けての報告をしてもらう。3 年時の報告では、学生自身の関心を広げ、深めてもらうことと、自身の関心にふさわしい問い合わせを探すことを重視する。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 環境と経済に関する基本的な知識を獲得する。 問い合わせをデザインする力を養う。 輪読を通して、専門的な文献を読む力を身につける。 討論を通して、自分の意見を相手に伝える力を身につける。 自分の関心がどこにあるのかを考えることを通じて、卒論のテーマを探すことができるし、就職先を考えるきっかけにもなる。 発表を通して、レジュメの作成の仕方やプレゼンの仕方を身につける。
授業計画	<p>春学期</p> <ul style="list-style-type: none"> 校外実習準備 輪読（『限界費用ゼロ社会』） 学期の後半に、卒論に向けての報告 <p>秋学期</p> <ul style="list-style-type: none"> 校外実習のまとめ 輪読（『U理論』） 学期の最後に、卒論に向けての報告 <p>※希望があれば、合宿を行いたいと考えている。</p>
予習	輪読レジュメの作成。事前に資料を読み込んで、ゼミのときに発言できるようにしておく。また、輪読の場合には、講義の前にその週に読むことになっている部分を必ず一度は読み通しておくこと。そのうえで、疑問点などを明確にしておき、議論に参加できるようにしておくこと。
復習	ゼミでのコメントなどを整理・消化して、次回以降の報告につなげて

	いく。
授業に関する注意事項	ゼミへの出席は基本で、無断欠席は認めない。また、現地調査やシンポジウムや合宿など、ゼミ関連のイベントには積極的に企画・参加してもらいたいと考えている（こちらは関心に応じての参加で構わない）。
教科書	ジェレミー・リフキン（2015）『限界費用ゼロ社会』NHK 出版、など。
参考書	ゼミの中で指示する。
成績評価の基準	ゼミでの報告内容及び議論での積極性。
関連 URL	
認定留学期間中の遠隔指導	可 / 否 / <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 基本的には否だが、応相談。 ）
備考	来年度履修予定のゼミ生が 15～16 名いるので、新たなゼミ生の受け入れを積極的に考えているわけではない。